



飛鳥興産株式会社

当社は『循環型社会の基礎を支える企業体の構築』を目指し、SDGs達成に向けた「資源リサイクル事業」「環境機器開発事業」「中間処理・運搬・メンテナンス事業」等有価物の再資源化企業として、社会の好循環を生み出す取組みを推進して参ります。

2023年12月1日
飛鳥興産株式会社
代表取締役社長 青木 英長

SDGs宣言

製品・サービス

有価物の再資源化ビジネスの
リーディングカンパニーを目指します

<具体的な取組み内容>

- 「有価物」としての価値を持っている廃棄物を、再び社会に循環する仕組みの提供
- 「有価物」の直接買取サービスのビジネス特許を取得、資源物流通の変革に挑戦
- ベトナム処理に特化した、A.剥離解体装置「脱がすゾウ」 B.ポケットコイル溶融処理装置 を自社独自開発（特許取得済み）業界の課題解決に寄与

<関連のあるゴール>



人権・労働

働く一人ひとりが生き生きと働ける
職場づくりに取り組みます

<具体的な取組み内容>

- 高齢者の採用には、個人個人の環境に応じた労働条件に合わせ柔軟な雇用形態を採用
- 就労時間においても個人の働き方に合わせ柔軟に設定
- 長時間労働の防止や騒音等周辺住民への配慮の観点から、基本的に「時間外労働ゼロ」を徹底

<関連のあるゴール>



環境

周辺地域の環境に配慮し
環境保全に取り組んでいきます

<具体的な取組み内容>

- 照明の消灯時間や騒音に対する配慮、有害物質の管理・保管ルールを徹底し、周辺住民への環境に配慮した運営
- 本社社屋の照明は全てLEDに置換済
- 全所有トラックにドライブレコーダー・GPSを設置し、急発進の抑制、アイドリング・ストップの励行等、無駄な運転・危険運転等をチェックし、事故と無駄の未然防止を徹底

<関連のあるゴール>



社会貢献・地域貢献

周辺地域に根差した企業として
社会課題解決型の貢献を実現します。

<具体的な取組み内容>

- 足立区のゴミの減量化・資源化事業「資源買取市」に協力し、月1回の割合で開催
- 行政からの指名により、特定地域の資源ゴミの回収事業の受託を積極的に受け入れ（中央区事例）

<関連のあるゴール>



・ SDGsとは、Sustainable Development Goals（持続可能な開発目標）の略称で、国連で採択された2030年までの国際目標です。
・ 経済・社会・環境などの分野で17の目標と169のターゲットで構成され、「地球上の誰一人取り残さない」ことを誓っています。

